

公財) PMF 組織委員会 御中

第 27 回パシフィック・ミュージック・フェスティバル2016

来場者調査 報告書

2017 年 3 月

北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院
研究員 宮部潤一郎

目 次

1. はじめに
2. 調査実施及び回収状況
 - 2-1) 調査内容と調査票
 - 2-2) 調査実施コンサートと回収状況
3. 集計結果分析その1 札幌・道内・東京の結果比較
4. 集計結果分析その2 札幌調査結果の時系列比較
5. 集計結果分析その3 道内および東京調査の独自質問項目に関する分析
6. まとめ

付属資料

1. はじめに

PMF 演奏会来場者を対象としたアンケート調査は、2014 年に北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院の学生プロジェクトチームによって実施されて以来、本年度で 3 回目の実施である。時系列の比較が可能となる調査内容として実施することを意識しつつ、本年は札幌以外の道内で開催された公演や東京公演を対象とした調査も実施した。実施に当たっては PMF 組織委員会の協力と支援を得たが、本報告書は宮部の責任でまとめたものである。したがって、以下の分析結果の解釈や結果に基づく考察は宮部のもので、PMF 組織委員会のものではない。

このアンケート調査の結果から、長くこの教育音楽祭を存続させていくために、今何をするべきかを考え、実行していく際に参考とすべき多くの示唆が得られたと考えている。

演奏会の際に調査へのご協力をいただいた多くの方々に、心から御礼を申し上げる次第である。

2. 調査実施及び回収状況

1) 調査内容と調査票

札幌公演の調査では 2014 年、2015 年の調査との時系列比較を可能とする質問項目とした。また、道内公演での調査では、各会場の事情に合わせて追加の設問を設けている。

調査票は各会場入り口で配布し、回収は会場内に設置した回収箱で実施した。

2) 調査実施コンサートと回収状況

札幌公演における調査実施コンサートは 2015 年より 1 公演少ない 5 公演とした。2016 年は道内公演や東京公演で調査を実施したため、全体の作業量の点から判断したものである。2016 年の調査対象コンサートは以下の通りである。

PMF2016 アンケート調査 配布・回収数

札幌公演

日付	公演名	配布数	回収数	回収率
7月22日（金）	PMFベルリン演奏会	432	169	39.1%
7月24日（日）	PMFオーケストラ演奏会 ＜プログラムA＞	1,163	389	33.4%
7月27日（水）	バーンスタイン・レガシー・ コンサート	1,389	600	43.2%
7月30日（土）	PMFオーケストラ演奏会 ＜プログラムB＞	1,484	504	34.0%
8月7日（日）	ピクニックコンサート	2,023	491	24.3%
	計	6,491	2,153	33.2%

道内公演

日付	公演名	配布数	回収数	回収率
7月20日（水）	PMFベルリン演奏会 苫小牧公演	420	205	48.8%
8月4日（木）	PMFオーケストラ演奏会 千歳公演	900	165	18.3%
8月8日（月）	PMFオーケストラ演奏会 函館公演	1,080	230	21.3%
	計	2,400	600	25.0%

東京公演

日付	公演名	配布数	回収数	回収率
8月9日（火）	PMFオーケストラ演奏会 東京公演	1,819	310	17.0%
	合計	10,710	3,063	28.6%

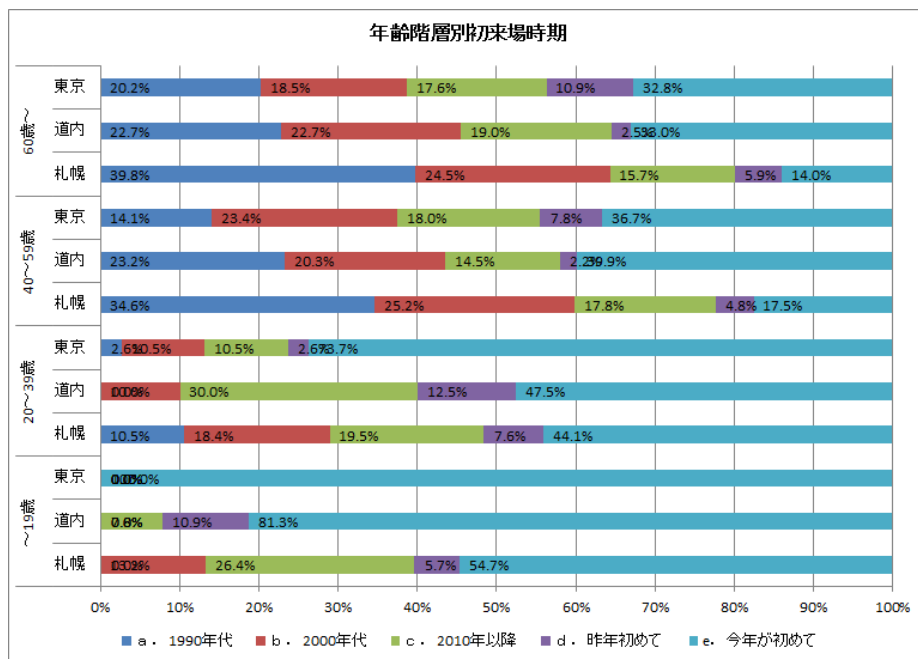
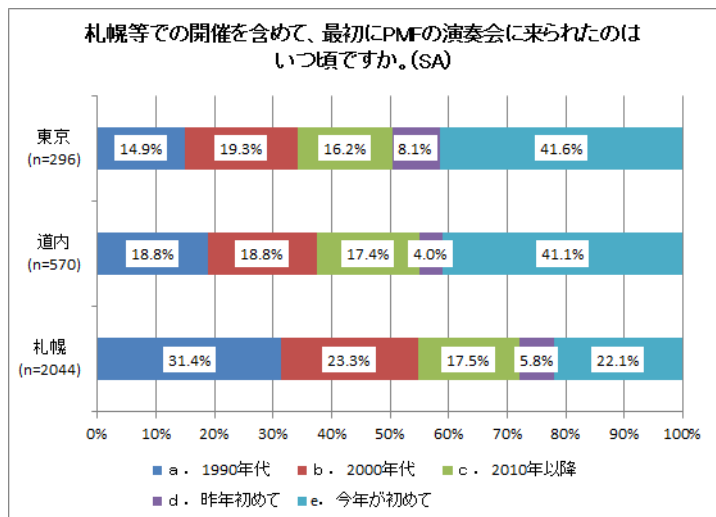
札幌公演での回収率は2014年、15年と比較して10ポイントほど低くなっているが、十分に高く、分析には問題ないサンプル数を確保できた。

3. 集計結果分析その1 札幌・道内・東京の結果比較

2016年調査の全体像を確認する意味で、札幌公演、道内公演、東京公演での調査結果を比較する。以下では3調査で共通の設問について提示し、それ以外の設問の結果については4章、5章で確認する。

3-1 初来場時期

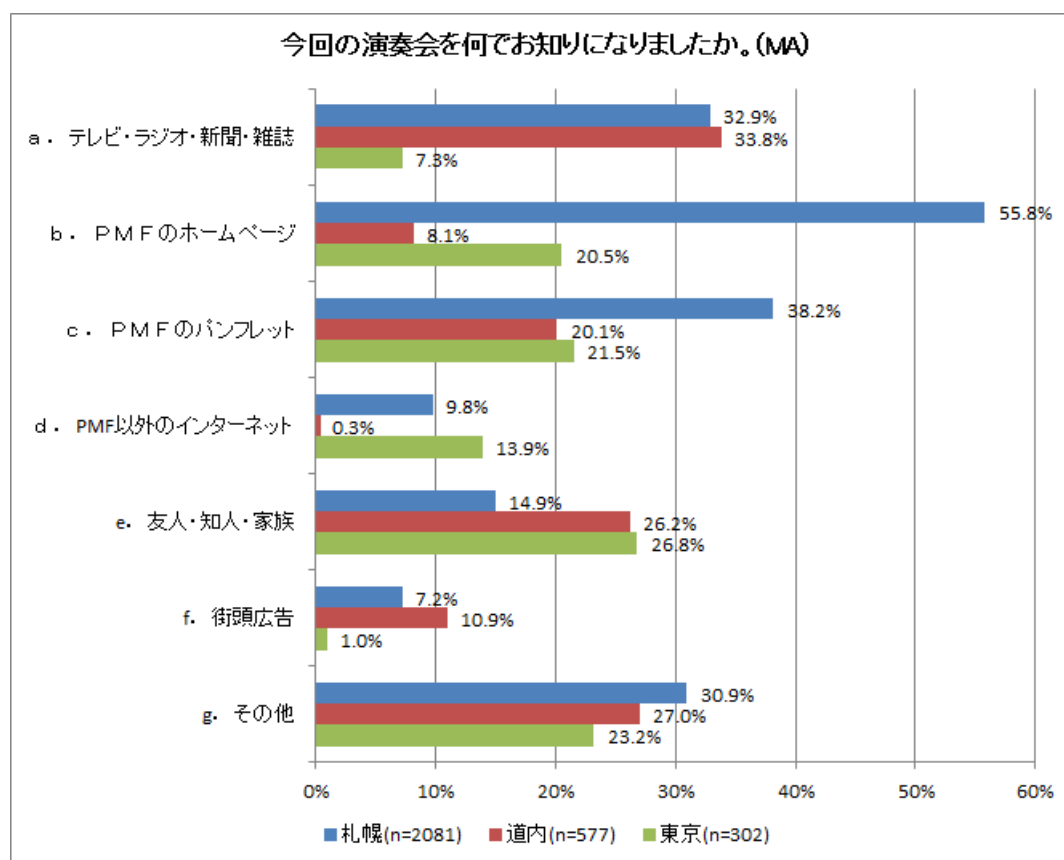
まず、演奏会への初参加時期については、札幌の場合は各時期に比較的均等に分散しているが、道内公演および東京公演では“今年が初めて”と“昨年初めて”で約半数を占めており、顕著な違いがみられる。道内および東京では継続した調査では無いので、この結果が2016年の特異な現象なのか、毎年このような状況なのかは判断がつかない。

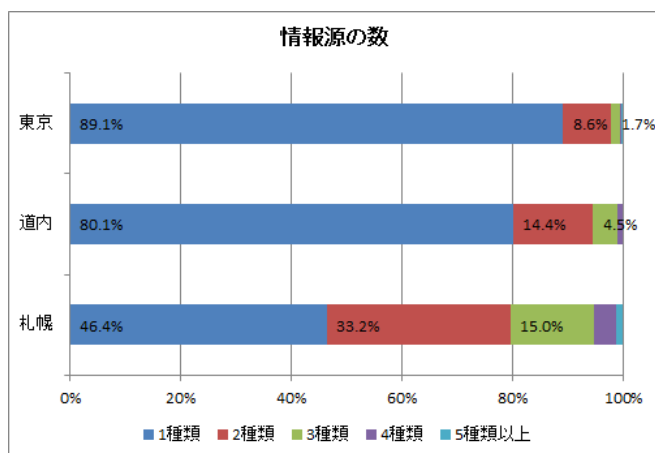


年齢別に各会場での初来場時期を見ると、道内、東京ではすべての年齢層において“初めて参加”の比率が札幌と比較して極めて高いことが確認できる。また、道内公演では小中学生や20歳以下の学生の参加が他と比較して多かったことがこの結果になっていると推測できる。この結果から道内および東京公演では継続参加者の確保が難しく、このことが聴衆確保の課題となっているのではないかと仮説が考えられる。ただし、前述のとおりこの点は1回の調査では判断が出来ず、今後の調査に待つしかない。

3-2 情報源

PMFに関する情報源に関しても札幌と他の公演では様相が異なる。特に顕著なのは、PMFの公式インターネットサイトの利用である。札幌公演の来場者の56%は公式サイトを利用しているのに対して、道内公演では8%、東京公演では21%である。札幌では多くの演奏会が開催され、それ以外にも街頭でのコンサートなども企画されているので、全体のプログラムの確認のための利用が多くなっていると考えられる。一方、道内公演も東京公演も1回のみであるため、当該都市での講演に関する情報のみが必要とされたためにこのような結果となったと推測される。その時の情報源は友人・知人であり、その他に含まれる主催者による情報や支援企業による情報が意味を持ったと考えられる。





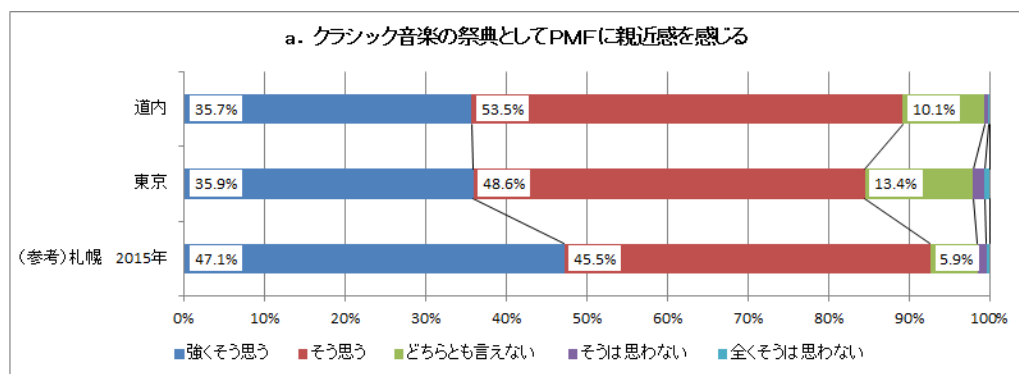
設問では多くの選択肢を用意し、複数回答で回答を求めた。ここでは何種類の情報源を利用したかを見ている。札幌では複数の情報源を組み合わせる利用とする回答が54%であるが、道内、東京では80~90%が単一の情報源の利用である。これは、札幌では1カ月に及ぶ多彩なプログラムが展開されることが背景として考えられる。1回の公演である道内、東京とはプログラムの密度が異なるということであるが、公式サイトへのアクセスが格段に低いことから、継続的にPMFに接触する場として公式サイト利用を促していくことが検討されてよいだろう。

3-3 PMF に関する認識

札幌調査では2014年、2015年調査で意識調査を実施したが、2016年調査では他の設問を優先したため以下の質問項目は実施しなかった。以下では参考として2015年調査の結果を表示している。

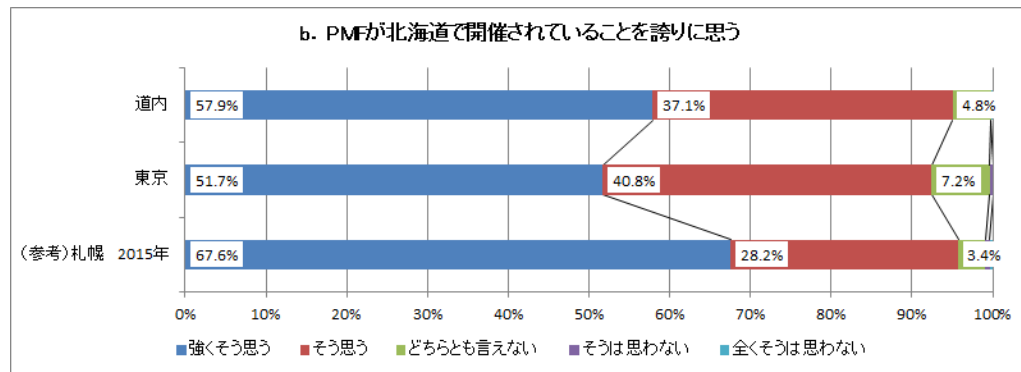
a. 親近感を感じる

肯定的な意見が圧倒的であるが、“強くそう思う”の比率が道内、東京ともに36%で、札幌での結果を11ポイント下回る。やはり主催都市で1か月にわたり多彩なプログラムが展開されることで、1回の公演のみの都市とはPMFとの距離感が相当に異なるということであろう。



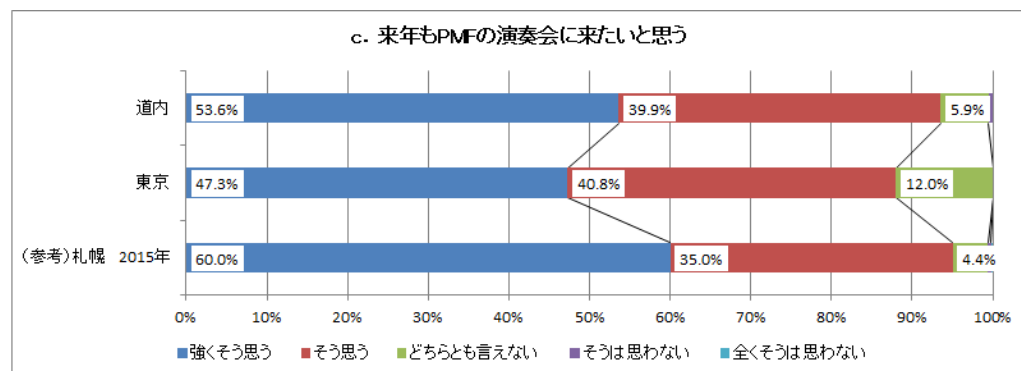
b. 誇りに感じる

肯定的な意見には大きな差は認められない。東京の結果では“どちらとも言えない”がやや多いが、7%にすぎず演奏会来場者は極めて肯定的に PMF をとらえている。



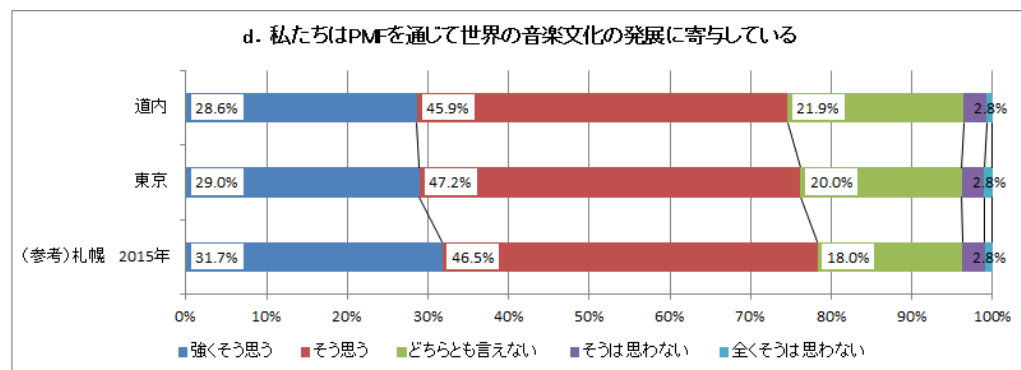
c. 演奏会来場意向

b 項と同様の傾向が認められる。肯定的意見は札幌が最も高く、次いで道内、東京の順である。全体として来場意向は極めて高い。



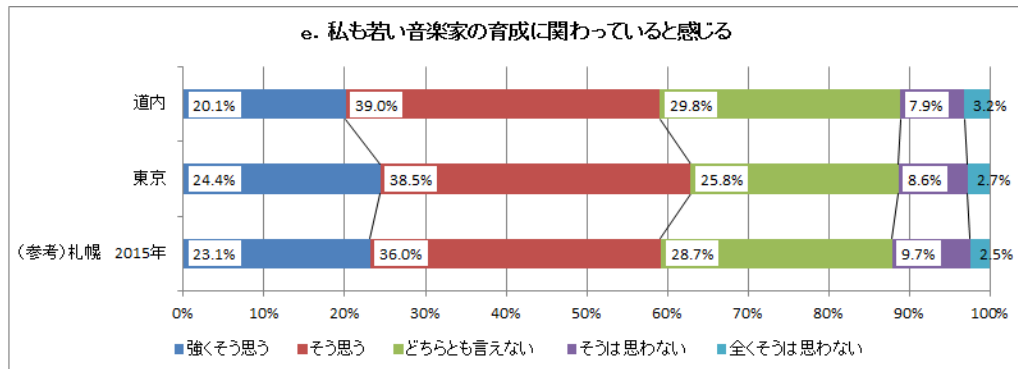
d. 音楽文化発展への寄与

札幌がやや高いが大きな差は無い。“強くそう思う”が30%程度であり、一方で“そうは思わない”という否定的意見が3%ある。



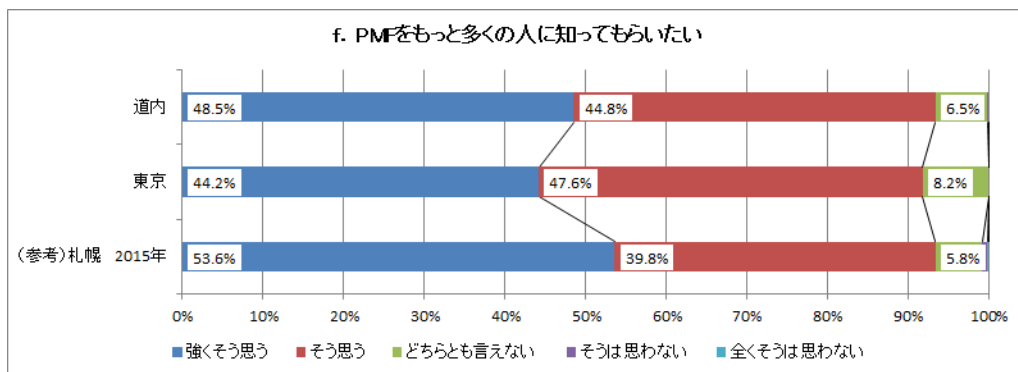
e. 育成への関与

ここでは東京の肯定的意見が最も高い結果となった。この結果の解釈にはいくつかの可能性がある。一つは、下記 g 項の結果にあるように東京の来場者がクラシック音楽の愛好家が多く、PMF の趣旨をよく理解しているという解釈である。今一つは、東京の来場者に支援企業の関係者が多く含まれており、趣旨の理解が浸透していると解釈するものである。



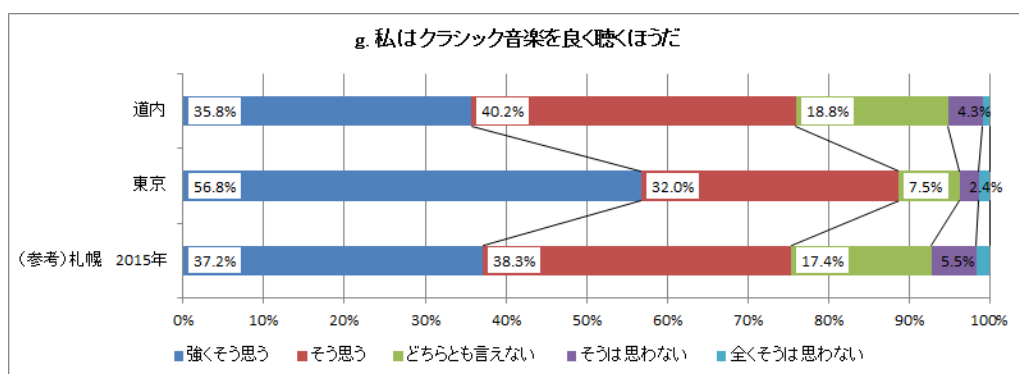
f. 来場者増

b、c 項と同様の傾向がみられる。否定的回答は道内で 1 件のみで東教では皆無であったのに対して参考とした札幌 2015 では 0.8%であった。



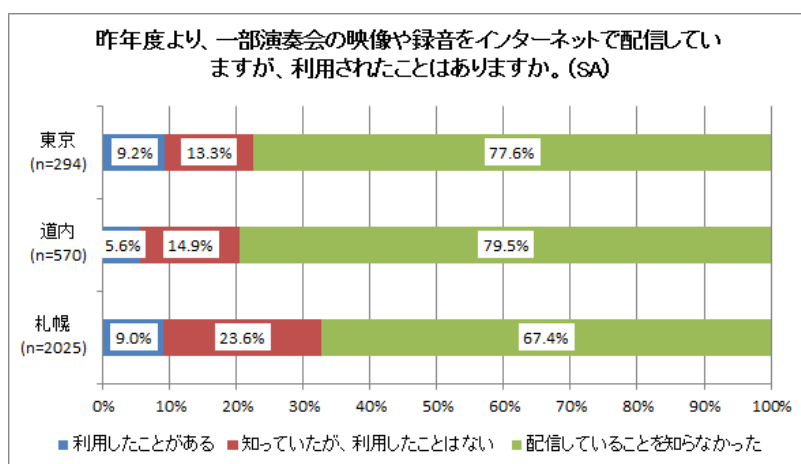
g. クラシック音楽

東京の来場者はクラシック音楽に親しんでいる人たちである。首都圏での公演は 1～2 回に限られており、札幌での 1 か月間にわたる多彩なプログラムとは接触度が異なるので、この結果は当然のことと考えられる。



3-4 インターネット配信の認知度

道内、東京では配信していることが十分に知られていない。この点は今後の継続的な取り組みによって解消されていくと考えられるが、自然に拡散することを待つのではなく、積極的な働きかけが検討されて良い。



フェースシート

性別	札幌	道内	東京
1. 男性	42.0%	34.0%	57.0%
2. 女性	58.0%	66.0%	43.0%

東京の来場者は男性の方が多い。支援企業の関係者ということであろうか。

年齢	札幌	道内	東京
1. 小・中学生	1.5%	6.1%	1.3%
2. 高校生～19歳	1.1%	5.3%	0.3%
3. 20歳代	7.4%	3.8%	4.7%
4. 30歳代	10.5%	3.4%	8.1%
5. 40歳代	14.0%	11.1%	14.8%
6. 50歳代	23.8%	12.8%	28.5%
7. 60歳代	26.6%	30.0%	24.2%
8. 70歳以上	15.1%	27.5%	18.1%

年齢階層では、道内で19歳以下が11%と高くなっていること、20歳代から50歳代の比率が低いことが特徴的である。

4. 集計結果分析その2 札幌調査結果の時系列比較

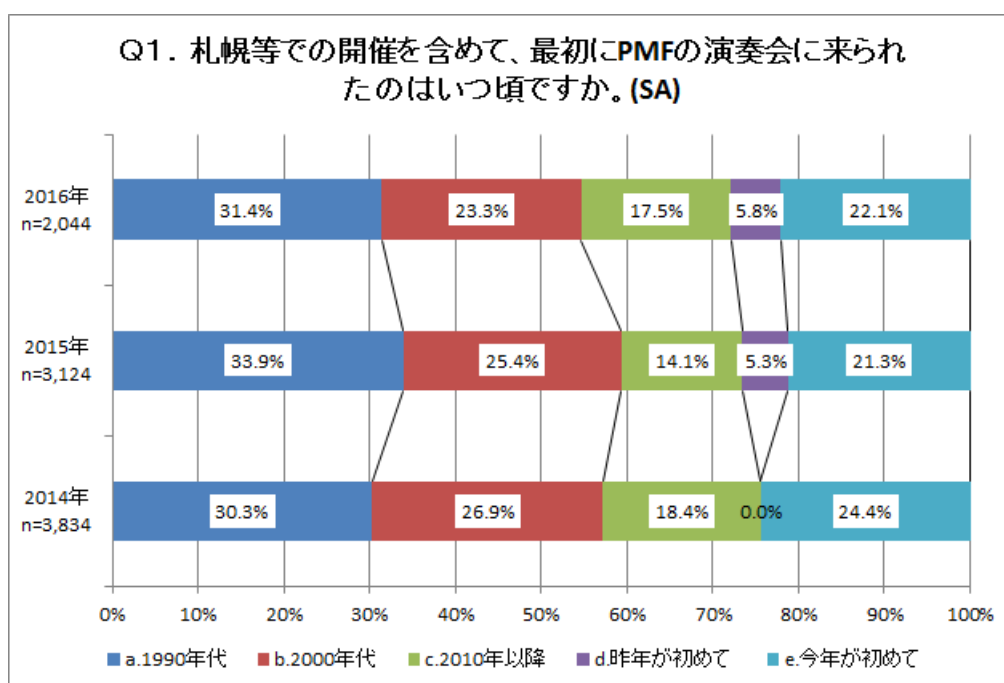
本年のPMF来場者調査には、調査実施演奏会を1回減らして5回としたことにより、回答協力は昨年より減少し2,153名であった。回収率は低下したとはいえ33.2%という高率であった。

3-1 設問1 PMF演奏会への初来場時期

設問1ではPMFの演奏会に初めて来場したのは何時ごろかを尋ねている。この設問はPMFへの関わりがいつから始まっているのかを確認し、また、新たな聴衆を獲得できているのかを確認するものである。

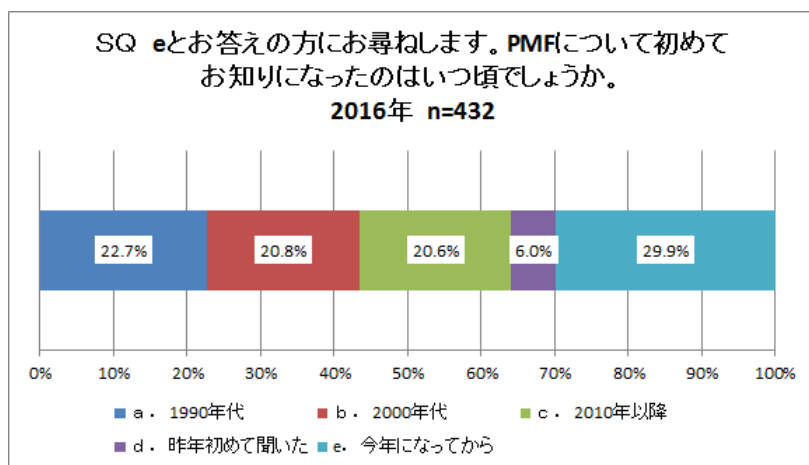
結果は、2014年調査以来ほぼ同様の傾向を示している。2016年調査では31%、概ね3人に1人はPMFの初期、1990年代に初めて参加としている。この回答は必ずしも毎年参加を意味しないが、複数回の参加実績を持たれていることを示している。また、23%、概ね4人に1人は2000年代に初めて参加である。比較的最近の2010年代の参加は、合わせて45%であるが、うち6%は昨年からの参加、22%は今年が初めての参加である。

ここから、長期間にわたりPMFに関心を寄せる聴衆が存在することを確認できるとともに、2016年も新たな聴衆を獲得できていることが確認できる。“昨年初めて参加”を選択した回答者が2015年調査とほぼ同レベルであったことから、新たに参加した聴衆の一定数を翌年以降にPMFに回帰させていることが確認できる。



2016年調査では“今年が初めて”を選択した回答者に対して、何時からPMFを知っているかを尋ねた。その結果は下図のとおりである。1990年代から知っていたとするものが

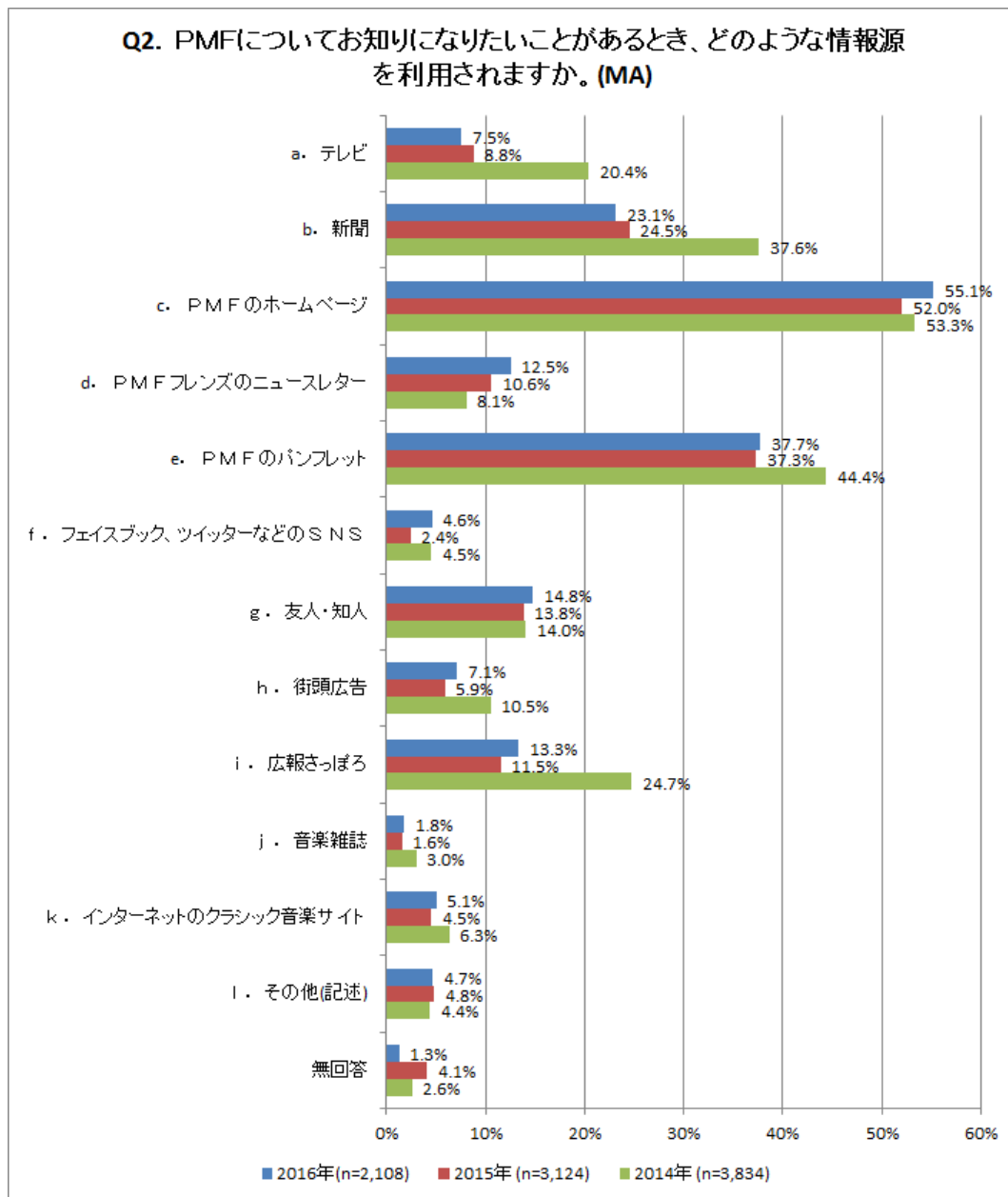
23%で、それ以降についても 21%、昨年あるいは今年になってから知ったとするものが 36%と、各年代がほぼ均等の結果であった。この結果は二つのことを示唆している。一つは、演奏会に参加しないまでも多くの人が PMF の存在を認識しているということを示唆しているとの解釈である。いま一つは、知っていても参加するまでに至らない何らかの理由が存在したことを示しているとの解釈である。存在を認識していることがそのまま開催を支持していることにはつながらないが、少なくとも初めて参加した人たちは存在を認め、サポートする気持ちがあった人たちと考えることが出来る。



3-2 設問2 PMFに関する情報源

PMF について知りたい時に利用する情報源は、ホームページ、パンフレット、新聞が 3 大情報源である。この傾向は 2014 年、2015 年と変わらないが、新聞、テレビの利用比率が大きく低下している。2014 年は PMF25 回記念として様々なメディアへの露出が多くあり、マスメディアを通しての情報接触の機会が多かったためにこのような結果となったと考えられる。全体的な傾向は 2015 年とほぼ同様の傾向であり、これが平常年の姿と考えて良いだろう。今後周年事業が続くことになるが、その際の情報発信の設計に参考になる結果である。

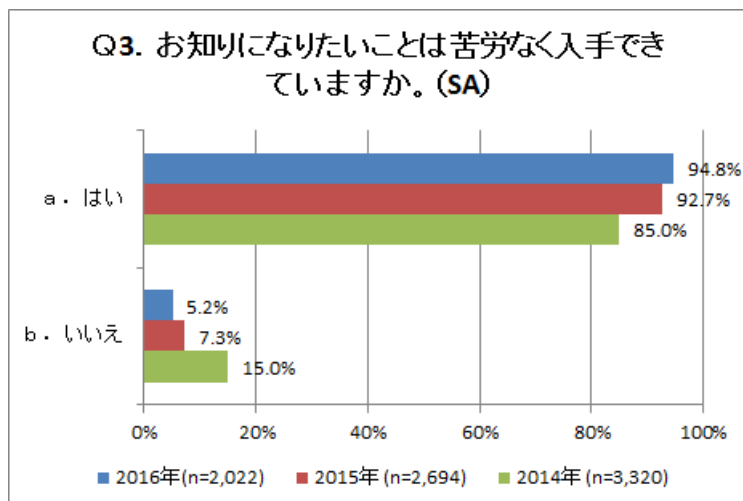
高齢層を含む大変多くの方がインターネットアクセスを持たれている現状から考えると、半数以上の方がホームページを利用されていることは容易に理解できる。しかし、PMF のパンフレット、新聞に次いで、友人・知人からの情報、PMF フレンズのニュースレターが続く。インターネットメディアだけでなく、印刷媒体も依然として情報源として重要な意味を持っていることが確認できることに留意しておきたい。



3-3 設問3 情報発信に対する評価

2016年調査においても情報発信状況の評価は、良好である。約95%が知りたいことは苦労なく入手としている。過去2回の結果と比較すると、情報入手に苦労したという回答は15%から5%に減少している。2014年が25回記念の特別の年であったことから、初めての参加者が相対的に多かったこと、多くの演奏会が開催され、複雑なプログラムであったことから、必要な情報にうまくアクセス出来なかったり、確認したいことが確認できなかったというケースがあったと推測できる。2015年、2016年は平常年の開催であり、演奏会プログラムやその他のイベントも比較的シンプルになったことを反映していると考えられ

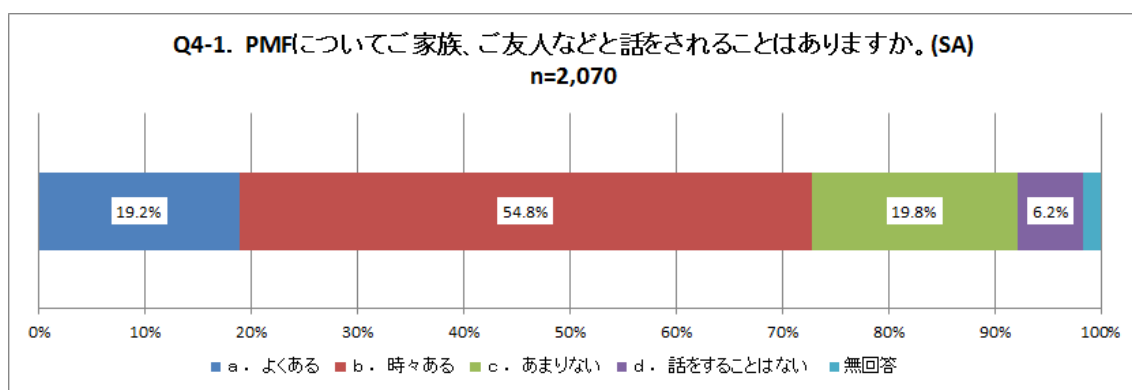
るが、そうした中で情報提供の改善努力が継続されていることを示す結果である。ただし、今後予定されている周年事業や記念事業年の開催に向けての情報発信に関して、情報の受け手を想定した配慮が必要である。



3-4 設問4 情報発信行動

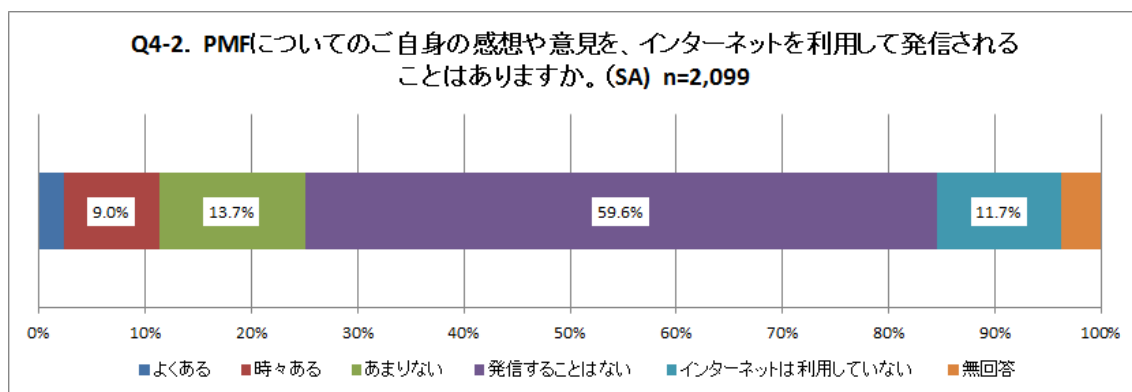
2016 年調査では来場者による情報発信行動についての質問を尋ねた。PMF に対する認知を向上し、支持基盤を拡大するためには、組織委員会からの効果的な情報発信と働きかけとともに、市民、参加者からの支持表明や情報発信が重要である。この設問はそのような働きかけや除法発信の状況を確認する目的で尋ねたものである。

まず、話題にすることはあるかとの質問に対しては、92%があると回答し、うち 19%は“よくある”とし積極的に話題に取り上げている状況がうかがえる。PMF が家族や友人というよく知る人との間での会話に取り上げられてることは、支持基盤の強化に向けた出発点であると言える。



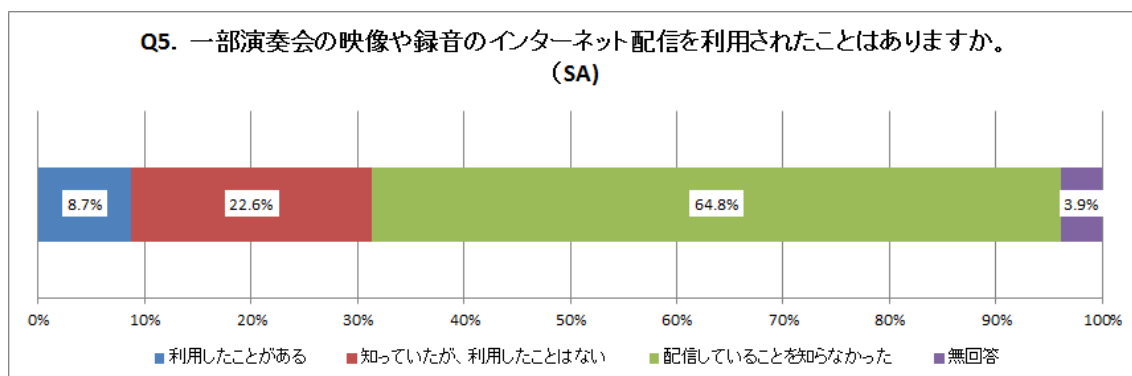
さらに、より積極的な発信行動について、インターネットの利用について尋ねた。インターネットは誰でもが情報発信者になることが出来る環境を提供し、空間的制約を乗り越えて情報を拡散する機能を有している。そしてネット上の発言がリアルな行動を引き起こ

すことが観察されている。PMFの支持基盤をさらに広げ、参加につなげていく一つの道筋として、ネット上の発言を考えることが出来る。演奏会来場者のネット上での情報発信について、現状を確認した結果が次の図である。12%はインターネットを使用しておらず、60%は発信することは無いとしている。一方、頻度はともかくとして発信することがあると回答したのは25%、4人に一人である。“よくある”として頻繁に発信しているのは2%、時々あるは9%で、合わせて10人に一人である。本調査のようなアンケート調査では発信内容まで踏み込んだ把握は不可能だが、演奏会来場者の10人に一人が何らかの発信をしていることの意味は大きいと言えよう。



3-5 設問5 インターネット配信の利用状況

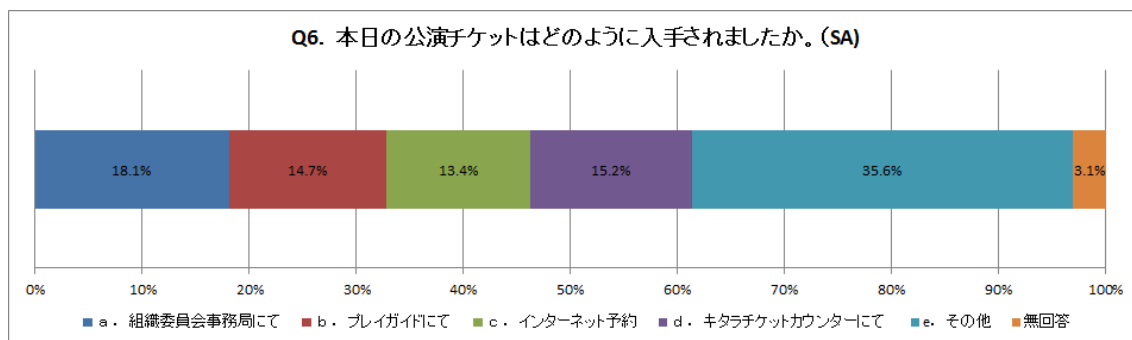
2015年より開始された一部演奏会のインターネット配信について、利用したことがあるのは9%に留まっている。65%は配信していることを知らなかったと回答しており、この調査自体が配信の周知の意味を持ったことは否めない。PMFへの関心を高める手段として有効と思われるため、このような映像音声の公開、配信は継続することが必要であろう。今後の調査により、周知と利用がどのように変化するかを確認して行くことも検討されてよいと思われる。



3-6 設問6 チケット入手

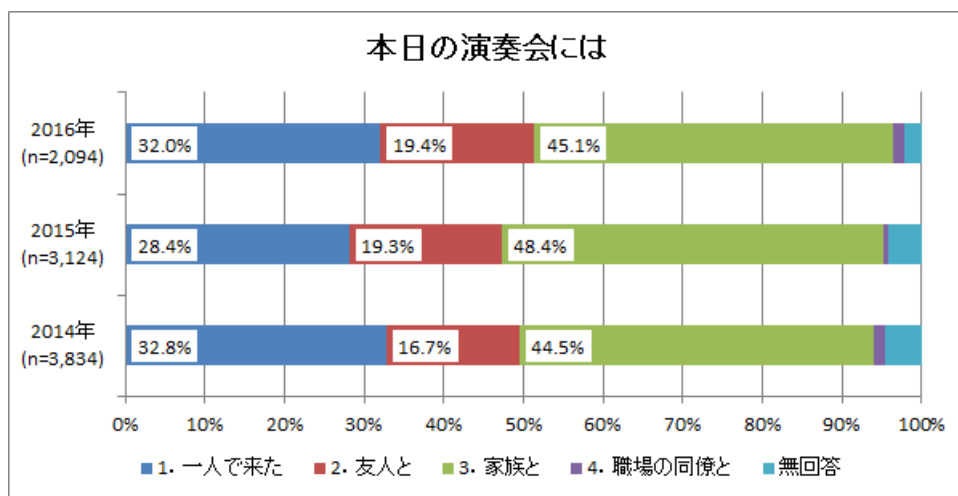
演奏会へのチケットの入手経路を確認する設問である。招待券利用者と会場での当日券

購入が含まれていると考えられるため、“その他”が36%という結果となった。組織委員会事務局で直接購入が18%と多い。また、キタラのチケットカウンターが15%となり、プレイガイドやインターネット予約もほぼ同率で、チケットの入手経路は分散している。

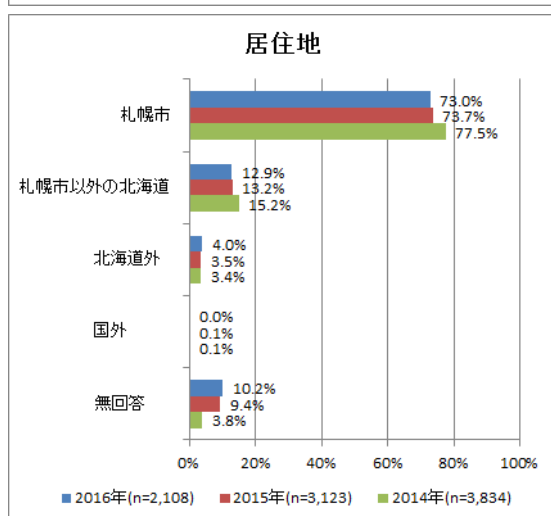
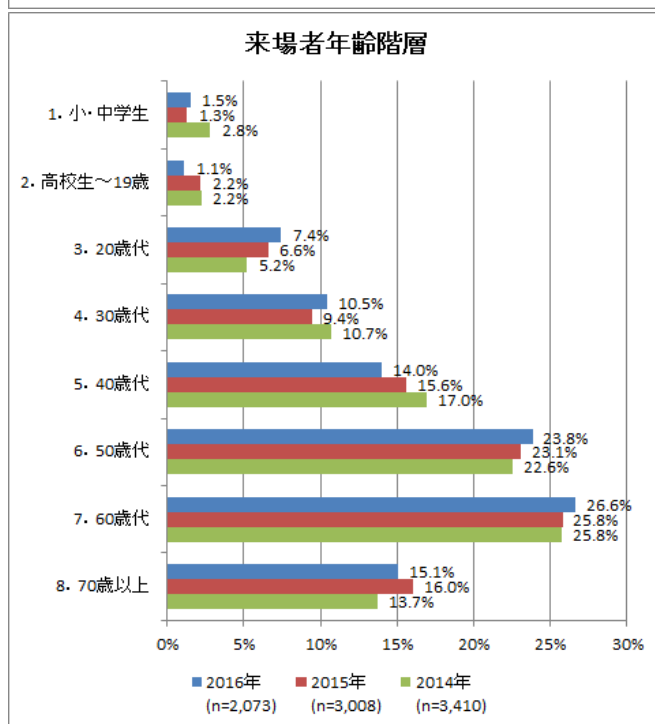
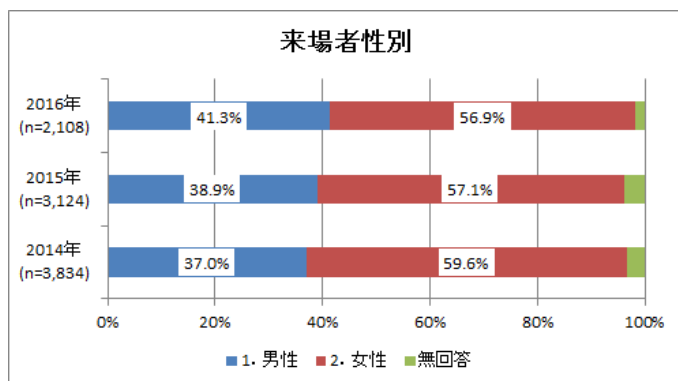


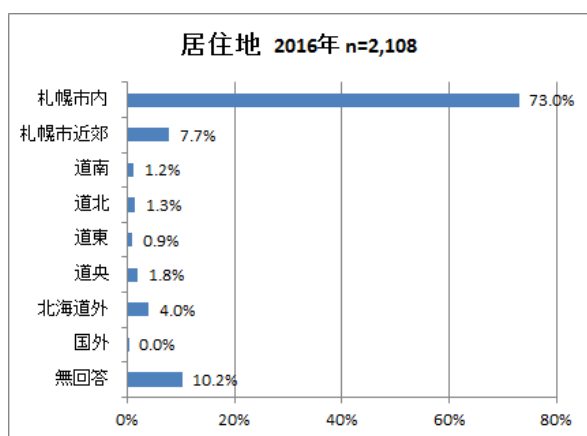
3-7 来場形態

2016年調査ではフェースシートに組み入れた設問であるが、毎回確認している設問である。約半数が家族との来場であり、家族とともに演奏を楽しむという傾向が2014年以来続いている。一人で来場が2015年には4ポイントほど低下したが、2016年では2014年とほぼ同水準の32%であった。



【フェースシート】 回答者の基本属性

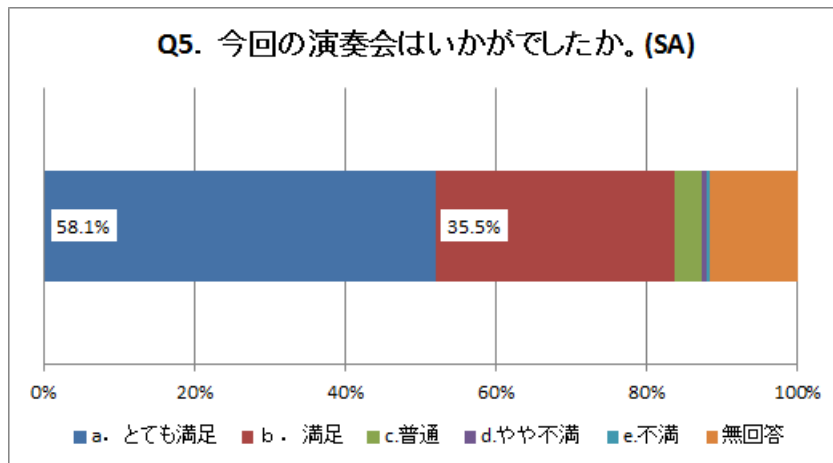




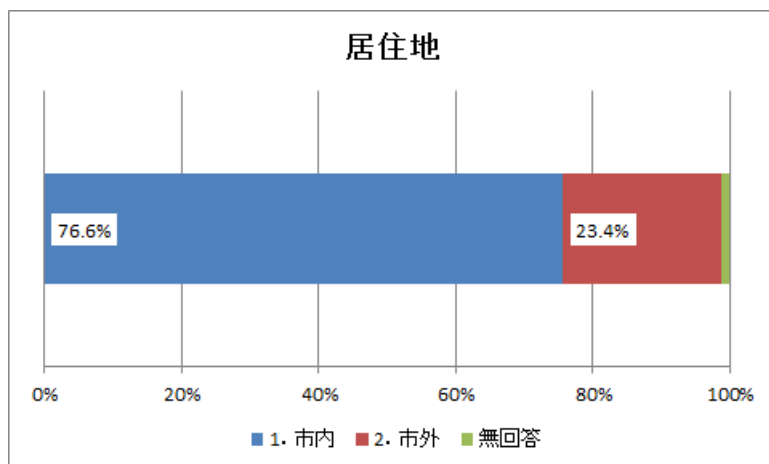
4. 集計結果分析その3 道内および東京調査の独自質問項目に関する分析

4-1 道内演奏会

札幌以外の道内演奏会では、来場者に満足度を尋ねている。過半の58%が“とても満足”、36%が“満足”と回答した。

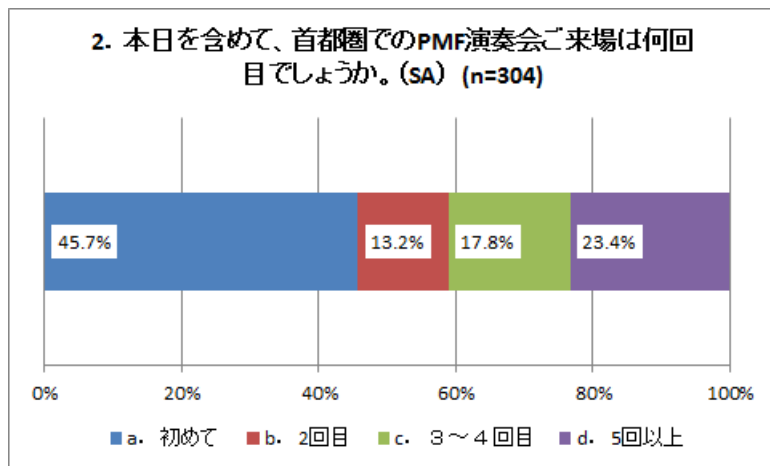


居住地を開催都市と市外で尋ねた。その結果、77%が開催都市居住者で、23%が開催と市外からの来場者であった。市外からの23%は決して少なくないと考えられる。クラシック音楽の演奏会がさほど頻繁には開催されない都市と周辺地域にたいして、PMFが貴重な機会を提供していることを示している。

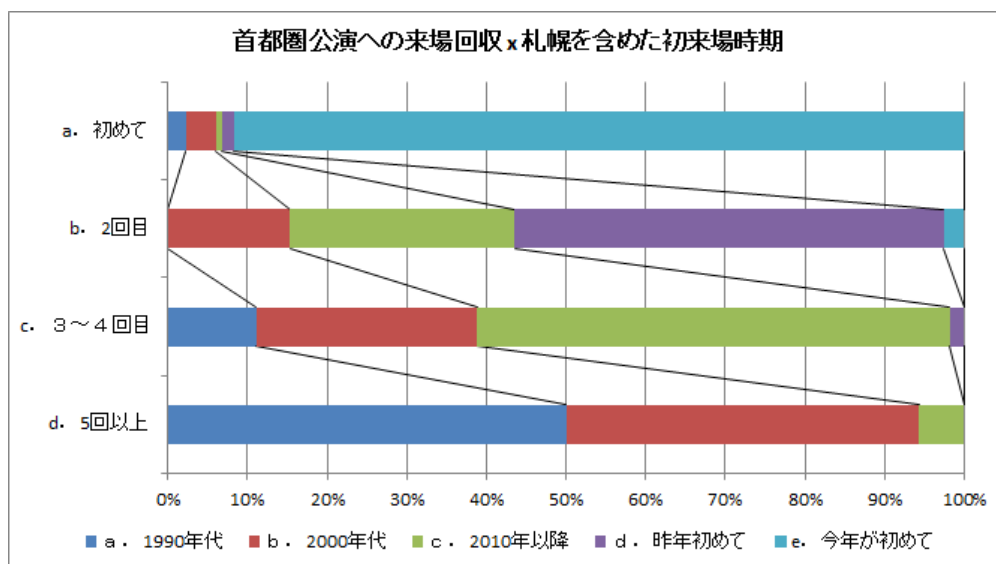


4-2 東京演奏会

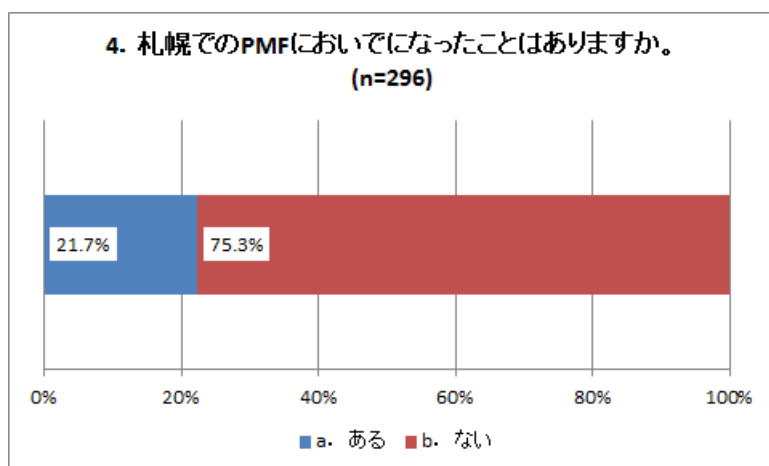
首都圏では東京以外に横浜などで演奏会を開催しているが、来場回数を尋ねた。46%が初めての来場であったが、5回以上の来場も23%、4人に一人の割合であった。



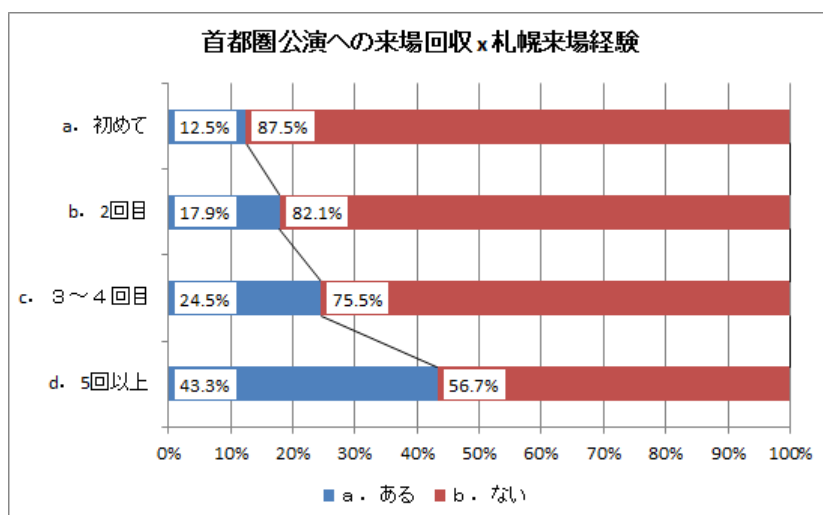
来場回数と初来場時期のクロスを見たものが下図である。ここでのキーは来場回数は「首都圏公演」とし、初来場時期は「札幌を含めた」としている点である。首都圏公演に初めて来場のケースでも初来場時期が1990年代とする回答がごく少数だが確認できる。来場回数が増えるにしたがって、初期からの来場者の比率が拡大している。



東京公演来場者に札幌での公演に来場したことがあるかどうかを尋ねた。回答者の 22% が“ある”と回答している。



首都圏公演への来場回数別に札幌来場経験の有無を確認したものが下図である。今回初めて東京公演に来場した回答者のうち 13% が札幌での PMF に来場した経験を有している。来場回数が増えるにしたがい、札幌来場経験を有する比率は増加する傾向が確認できる。札幌での来場回数を尋ねていないので、転勤などにより札幌在住経験があり、その折に PMF 演奏会に来場した経験から東京公演の来場を思い立ったといったケースが考えられる。したがって、この結果は因果関係を示すものではなく、首都圏公演への来場が増えたと札幌への参加が増えると言うことは出来ない点に留意が必要である。しかし、今後に向けての仮説として、継続参加の呼びかけと同時に札幌への来場を呼びかけることの可能性を考えることが出来よう。



5. まとめ 2016 年調査から得られる示唆

① 演奏会来場者の確保

札幌公演に関して 3 年連続で来場者調査を実施したが、毎年新規の来場者を獲得できている様子が明らかになった。2015 年、16 年は平常年であったが、大きな変化は無く、傾向を把握できたと考えて良いだろう。今後は新規来場者を獲得し続けるとともに、リピーターの拡大に努めていくことが必要であろう。

② 情報提供のあり方について

来場者の情報入手に関して特段の問題は無いと考えて良い。公式サイトの実装や PMF MUSIC PARTNER の配信など、地道な努力が成果を上げつつあると言えるだろう。今後もこのような努力が継続されることが必要だが、同時に市民による情報発信を促すような情報提供（話のネタの提供）という観点からの検討も重要となろう。

③ 永続的な支援基盤の構築強化に向けて

PMF が今後長期にわたって札幌で開催されるための最大の条件は、市民からの支持があることだろう。演奏会会場に足を運ぶことだけが支持の具体化ではない。演奏会の中にはキタラの大ホールで空席が目立つものも存在し、このような演奏会を満員にする努力は必要であるが、それとともに演奏会来場者の外側に、PMF の開催を好もしくは、大事に思う人々をどれだけ分厚く持てるかという視点も重要である。本調査は実際に演奏会場に足を運んだ人たちが対象であり、この結果から足を運ばなかった人たちについて何らかの推測をすることは適当ではない。しかし、3 年間の調査を担当した経験から調査対象の外側に位置する人たちに対する働きかけも必要と考えている。

< 付属資料 >

2016 年調査 調査票

2016 年 PMF演奏会に関する来場者調査

PMFはこれまで多くの方々に支えられて歴史を積み重ねてきました。今後、さらにPMFを発展させていくために皆様の率直なご意見をお聞きしたく、この調査を実施しています。どうかご協力をお願いします。なお、ご回答内容は統計的に処理し、個別の回答を開示することは一切ございません。この調査は、公益財団法人PMF組織委員会が実施しています。

Q1. PMFの演奏会に最初においでになったのはいつごろですか。該当する項目を一つお選びください。

- a. 1990 年代 b. 2000 年代 c. 2010 年以降 d. 昨年が初めて e. 今年が初めて

↓
SQ e とお答えの方にお尋ねします。PMF について初めてお知りになったのはいつ頃でしょうか。

- a. 1990 年代 b. 2000 年代 c. 2010 年以降 d. 昨年初めて聞いた e. 今年になってから

Q2. PMFについてお知りになりたいことがあるとき、どのような情報源を利用されますか。該当する項目全てを○印で示してください。

- a. テレビ b. 新聞 c. PMFのホームページ d. PMFフレンズのニュースレター e. PMFのパンフレット
f. フェイスブック、ツイッターなどのSNS g. 友人・知人 h. 街頭広告 i. 広報さっぽろ j. 音楽雑誌
k. インターネットのクラシック音楽サイト l. その他(具体的にお教えてください _____)

Q3. お知りになりたいことは苦労なく入手できていますか。 a. はい b. いいえ

Q4-1. PMF についてご家族、ご友人などと話をされることはありますか。該当する項目を一つお選びください。

- a. よくある b. 時々ある c. あまりない d. 話をすることはない

Q4-2. PMF についてのご自身の感想や意見を、インターネットを利用して発信されることはありますか。該当する項目を一つお選びください。

- a. よくある b. 時々ある c. あまりない d. 発信することはない e. インターネットは利用していない

Q5. 昨年度より、一部演奏会の映像や録音をインターネットで配信していますが、利用されたことはありますか。該当する項目を一つお選びください。(今年度のコンサートも後日配信する予定です。)

- a. 利用したことがある b. 知っていたが、利用したことはない c. 配信していることを知らなかった

Q6. 本日の公演チケットはどのように入手されましたか。該当する項目を一つお選びください。

- a. 組織委員会事務局にて b. プレイガイドにて c. インターネット予約 d. キタラチケットカウンターにて
e. その他

Q7. PMFに関してご意見等がありましたら、ご記入をお願いします。

質問は以上です。統計的分析のためにご自身についてお尋ねします。該当する番号に○印でお答えください。

あなたは 1. 男性 2. 女性

あなたの年齢は 1. 小・中学生 2. 高校生～19 歳 3. 20 歳代 4. 30 歳代
 5. 40 歳代 6. 50 歳代 7. 60 歳代 8. 70 歳以上

本日の演奏会には 1. 一人で来た 2. 友人と 3. 家族と 4. 職場の同僚と

<ご協力を誠にありがとうございました。裏面にもお答えください。>

PMF2016 支出に関する来場者調査

本日は、PMF2016のコンサートにご来場いただき誠にありがとうございます。

札幌市は、多様な文化芸術を享受できるまちづくりを目指し、市民が様々な文化芸術を楽しみながら実践し、表現・発信できる環境づくりを推進しております。

この調査は、PMFが開催されることによる経済効果を測定し、今後の札幌の文化行政の発展のために活用いたします。

皆さまのご協力をお願いいたします。

Q1. お住まいの場所 ※皆さまにお尋ねいたします

居住 ☐ 札幌市内

☐ 北海道内 → ☐ 道南・☐ 道北・☐ 道東・☐ 札幌市近接市町（市町名
☐ 道央（近接市町以外）

☐ 北海道外 → 都道府県名（）

☐ 国外（国名：）

Q2. 会場までの移動に利用した交通機関（複数回答可） ※パッケージツアーの方、交通機関を利用していない方は記載不要です

会場までに利用した交通機関をすべて挙げてください。

市内での移動

☐ J R・地下鉄・市電 片道 0--1--2--3--4--5(百円) それ以上 約()円

☐ バス 片道 0--1--2--3--4--5(百円) それ以上 約()円

☐ タクシー 片道 0--1--2--3--4--5(千円) それ以上 約()円

市外からの移動

☐ 航空機 片道 0--1--2--3--4--5(万円) それ以上 約()円

☐ J R 片道 0--1--2--3--4--5(千円) それ以上 約()円

☐ バス・タクシー 片道 0--1--2--3--4--5(千円) それ以上 約()円

☐ その他 片道 0--1--2--3--4--5(千円) それ以上 約()円

Q3. 宿泊される方 ※パッケージツアーの方は記載不要です

札幌市内で宿泊

☐ する → (泊) 宿泊料 (一泊) 円

☐ しない

Q4. パッケージツアーに支払った代金 ※パッケージツアーをご利用の方のみお答えください

交通機関、宿泊、食事などがまとまったパッケージツアーの代金を挙げてください。

☐ ツアー代金（宿泊あり） 0--1--2--3--4--5(万円) それ以上 約()円

☐ ツアー代金（宿泊なし） 0--1--2--3--4--5(万円) それ以上 約()円

Q5. その他の支出 ※皆様にお尋ねいたします

PMF会場での物品購入費や飲食費などの支出予定額を教えてください。（チケット料金は除く）

☐ 物品購入費 0--1--2--3--4--5(千円) それ以上 約()円

☐ 飲食費 0--1--2--3--4--5(百円) それ以上 約()円

本日のPMF来場前後の札幌市内での食事やお土産代など、PMF会場以外での支出予定額を教えてください。

☐ 飲食費 0--1--2--3--4--5(千円) それ以上 約()円

☐ 市内交通費 0--1--2--3--4--5(百円) それ以上 約()円

☐ お土産 0--1--2--3--4--5(千円) それ以上 約()円

☐ その他 0--1--2--3--4--5(千円) それ以上 約()円

<<<ご協力を誠にありがとうございました。裏面にもお答えください。>>>

2016 年度 PMF 演奏会に関する来場者調査

本日は、パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。今後さらに PMF を発展させていくために皆様のご意見をお聞きしたく、この調査を実施しています。どうかご協力をお願いします。なお、ご回答内容は統計的に処理し、個別の回答を開示することは一切ございません。

1. 今回の演奏会を何でお知りになりましたか。該当する項目をすべてお選びください。

- a. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 b. PMF のホームページ c. PMF のパンフレット d. PMF 以外のインターネット
e. 友人・知人・家族 f. 街頭広告 g. その他(具体的にお教えてください_____)

2. 本日を含めて、首都圏での PMF 演奏会ご来場は何回目でしょうか。該当する項目を一つお選びください。

- a. 初めて b. 2 回目 c. 3～4 回目 d. 5 回以上

3. 東京、札幌等での開催を含めて最初に PMF 演奏会に来られたのはいつですか。該当する項目を一つお選びください。

- a. 1990 年代 b. 2000 年代 c. 2010 年以降 d. 昨年初めて e. 今年が初めて

4. 札幌での PMF においでになったことはありますか。 a. ある b. ない

5. 以下の項目について、あなたのお考えやお気持ちに最も近い番号に○印を付けてください。

	う強く そう 思う	そう 思う	言ど えち らない とも	なそ いは 思わ	思全 わく そう ない は
a. クラシック音楽の祭典として PMF に親近感を感じる	1	2	3	4	5
b. PMF が日本で開催されていることを誇りに思う	1	2	3	4	5
c. 来年も PMF の演奏会に来たいと思う	1	2	3	4	5
d. 私たちは PMF を通じて世界の音楽文化の発展に寄与している	1	2	3	4	5
e. 私もあり音楽家の育成に関わっていると感じる	1	2	3	4	5
f. PMF をもっと多くの人に知ってもらいたい	1	2	3	4	5
g. 私はクラシック音楽を良く聴くほうだ	1	2	3	4	5

6. 昨年度より、一部演奏会の映像や録音をインターネットで配信していますが、利用されたことはありますか。該当する項目を一つお選びください。(今年度のコンサートも後日配信する予定です。)

- a. 利用したことがある b. 知っていたが、利用したことはない c. 配信していることを知らなかった
d. インターネットを利用していない

7. PMF に関してご意見等がありましたら、ご記入をお願いします。

質問は以上です。統計的分析のためにご自身についてお尋ねします。

あなたは ☐ 男性 ☐ 女性

あなたの年齢は ☐ 小・中学生 ☐ 高校生～19 歳 ☐ 20 歳代 ☐ 30 歳代 ☐ 40 歳代

☐ 50 歳代 ☐ 60 歳代 ☐ 70 歳以上

ご協力をありがとうございました。この用紙は「アンケート回収箱」にお入れください。

2016 年度 PMF 演奏会に関する来場者調査

本日は、パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。
今後さらに PMF を発展させていくために皆様のご意見をお聞きしたく、この調査を実施しています。どうかご協力をお願いします。なお、ご回答内容は統計的に処理し、個別の回答を開示することは一切ございません。

1. 今回の演奏会を何でお知りになりましたか。該当するものをすべてお選びください。

- a. テレビ・ラジオ・新聞・雑誌 b. PMF のホームページ c. PMF のパンフレット d. PMF 以外のインターネット
e. 友人・知人・家族 f. 街頭広告 g. その他（具体的にお教えてください _____）

2. 札幌等での開催を含めて、最初に PMF の演奏会に来られたのはいつ頃ですか。該当する項目を一つお選びください。

- a. 1990 年代 b. 2000 年代 c. 2010 年以降 d. 昨年初めて e. 今年が初めて

3. 以下の項目について、あなたのお考えやお気持ちに最も近い番号に○印を付けてください。

	う 強 く そ う 思 う	そ う 思 う	言 え な い と も	な い そ う は 思 わ ない	全 く そ う は 思 わ ない
a. クラシック音楽の祭典として PMF に親近感を感じる	1	2	3	4	5
b. PMF が北海道で開催されていることを誇りに思う	1	2	3	4	5
c. 来年も PMF の演奏会に来たいと思う	1	2	3	4	5
d. 私たちは PMF を通じて世界の音楽文化の発展に寄与している	1	2	3	4	5
e. 私も若い音楽家の育成に関わっていると感じる	1	2	3	4	5
f. PMF をもっと多くの人に知ってもらいたい	1	2	3	4	5
g. 私はクラシック音楽を良く聴くほうだ	1	2	3	4	5

4. 昨年度より、一部演奏会の映像や録音をインターネットで配信していますが、利用されたことはありますか。

該当する項目を一つお選びください。（今年度のコンサートも後日配信する予定です。）

- a. 利用したことがある b. 知っていたが、利用したことはない c. 配信していることを知らなかった

5. 今回の演奏会はいかがでしたか。該当する項目を一つお選びください。

- a. とても満足 b. 満足 c. 普通 d. やや不満 e. 不満

6. 今回の演奏会の感想をお聞かせください。

質問は以上です。統計的分析のためにご自身についてお尋ねします。

あなたは 1. 男性 2. 女性

あなたの年齢は 1. 小・中学生 2. 高校生～19 歳 3. 20 歳代 4. 30 歳代 5. 40 歳代
6. 50 歳代 7. 60 歳代 8. 70 歳以上

あなたのお住まいは 1. 函館市内 2. 函館市外

ご協力をありがとうございました。この用紙は「アンケート回収箱」にお入れください。